

6月25日(木曜日)「死の網に巻かれても」

【新改訳 2017】

## 詩篇 116・1－19

「主は、私に耳を傾けられるので、私は生きるかぎり主を呼び求めよう。死の網が私を取り巻き、よみの恐怖が私を襲い、私は苦しみと悲しみの中にあつた。そのとき、私は主の御名を呼び求めた。…  
…」(2－4節)

この叫びは、主なる神を本当に知っている人の告白でしょう。記者は、「私は主を愛する。主は私の声、私の願いを聞いてくださるから」(1節)との表明もしています。

しかし、生きている限り、不思議ですが、問題や困難、危険は避けられません。冒頭の箇所は、まさに瀕死の状態の中から主の御名を呼び求めた様子です。

言うまでもなく、主はその叫びに伝えてくださ

いました。主は、まことにあわれみ深いお方です。  
わきまえない者を守り、救ってくださるのです。

このことを知っていた記者は、「大いに悩んだ」  
時にも信じた、と言っています。これこそ信仰では  
ないでしょうか。どんな時にも主を信じましょう。

～祈り～

主よ。あなたのゆえに、キリスト者には絶望という  
ことはないことを感謝します。どんな時にも、あ  
なたの御名を呼び求める者であらせてください。

**【学びのために】** 詩篇130篇参照。

(参考区部) テーマ「救いの経験をした人の祈り」、  
1-8 節 祈りを聞き届けられる神、9-19 節 神  
への感謝と信頼への表明。